



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 オカモト株式会社
 コード番号 5122 URL <https://www.okamoto-inc.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高島 寛

TEL 03-3817-4121

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	19,365	14.6	1,923	15.0	2,416	5.0	1,644	10.4
2020年3月期第1四半期	22,678	0.9	2,263	21.6	2,544	26.9	1,834	30.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,784百万円 (56.3%) 2020年3月期第1四半期 1,141百万円 (59.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	87.52	
2020年3月期第1四半期	96.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	104,040	64,492	59.6
2020年3月期	104,081	63,838	58.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 61,964百万円 2020年3月期 61,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		50.00		50.00	100.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大が事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に見積ることが困難であることから、引き続き未定としております。なお、今後合理的に見積ることが可能となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	19,599,367 株	2020年3月期	19,599,367 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	839,775 株	2020年3月期	799,519 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	18,789,676 株	2020年3月期1Q	18,995,889 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、人の移動が著しく制限され、レジャー及びサービス業を中心に個人消費は大幅に落ち込むとともに、幅広い業種での生産活動にも影響をもたらし、先行きは極めて不透明な状況となっております。

このような経営環境のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策として取引先及び従業員の安全を第一に考えるとともにさらなる感染拡大を防ぐため、対面での営業活動の制限やテレワークの推進等を実施するとともに、生産効率の改善と在庫の圧縮に努め、生産・営業活動をしてまいりました。

結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は19,365百万円（前年同期比14.6%減）となりました。利益面では売上高の減少に伴う工場稼働率低下の影響で、営業利益は1,923百万円（前年同期比15.0%減）、経常利益は2,416百万円（前年同期比5.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,644百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般用フィルムは、新型コロナウイルス感染症対策としての飛沫飛散防止用途として市場が一時的に急拡大し、売上増となりました。工業用フィルムは、各種イベントの中止によりメディア向けの販売が減少し、海外向けステッカー一用も低調で、売上減となりました。建材用フィルムは、建築工事の中断及び延期による需要低迷に加え、各種イベントの中止によるメディア向けの販売も減少し、売上減となりました。多層フィルムは、工業用は取引先における生産休止の影響を受け、また食品用も需要が減少し、売上減となりました。壁紙は、建築工事の中断及び延期の影響を受け、売上減となりました。農業用フィルムは、取引先での設備投資抑制により需要が減少し、売上減となりました。自動車内装材は、自工メーカーの生産休止及び生産再開後の稼働率低下により、売上減となりました。フレキシブルコンテナは、昨年10月に発生した「令和元年東日本台風」による水害の影響により生産数量が減少し、売上減となりました。粘着テープは、建築業向けの販売が振るわず、売上減となりました。工業用テープは、車輛向けテープの需要が低調で、売上減となりました。食品衛生用品は、業務用ラップは昨年10月に発生した「令和元年東日本台風」による水害の影響により落ち込んだ売上が回復せず、業務用手袋はスーパーマーケット向けを中心に売上増となりましたが、全体として売上減となりました。食品用吸水・脱水シートであるピチット製品は、外食産業向けの販売が減少し、売上減となりました。研磨布紙等は、建材関連向けの製品は堅調でしたが、精密加工用の受注減や研磨材のハードディスク表面加工用の採用停止の影響により、売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は12,623百万円（前年同期比13.6%減）、セグメント利益は659百万円（前年同期比16.0%減）となりました。

② 生活用品

コンドームは、訪日外国人客が大幅に減少した影響で、売上減となりました。浣腸は、販売が好調で、売上増となりました。除湿剤は、販売ルートの拡張に加え、全国的に昨年と比べて早く梅雨入りした影響により、売上増となりました。手袋は、家庭用で販売ルートが拡張したことに加え、作業用途の需要が増加したことにより売上増となり、医療用及び産業用も需要が増加し、売上増となりました。医療用品は、滅菌器は買換え需要が減少しましたが、グローブカバーはポリウレタン製が堅調で売上増となりました。ブーツ及び雨衣は、個人消費の低迷による市況の悪化及び取扱商品の減少により、売上減となりました。シューズは、個人消費の低迷による市況の悪化の影響により、売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は6,670百万円（前年同期比16.7%減）、セグメント利益は1,694百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

③ その他

その他事業は、物流受託事業及び太陽光発電事業であります。当セグメントの売上高（振替前）は875百万円（前年同期比8.3%減）、セグメント利益は75百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は104,040百万円で、前連結会計年度末と比べ41百万円減少しております。

流動資産は64,330百万円で、前連結会計年度末と比べ512百万円の減少となりました。これは主として、商品及び製品が731百万円増加し、受取手形及び売掛金1,219百万円、電子記録債権432百万円が減少したことによるものです。

固定資産は39,710百万円で、前連結会計年度末と比べ471百万円の増加となりました。これは主として、無形固定資産667百万円、投資有価証券767百万円が増加し、有形固定資産が412百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における総負債は39,548百万円で、前連結会計年度末と比べ694百万円減少しております。

流動負債は29,461百万円で、前連結会計年度末と比べ1,098百万円の減少となりました。これは主として、未払法人税等201百万円、その他393百万円が増加し、支払手形及び買掛金504百万円、賞与引当金475百万円、災害損失引当金634百万円が減少したことによるものです。

固定負債は10,087百万円で、前連結会計年度末と比べ403百万円の増加となりました。これは主として、その他が465百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は64,492百万円で、前連結会計年度末と比べ653百万円増加しております。これは主として、利益剰余金688百万円、その他有価証券評価差額金538百万円が増加し、自己株式の取得による減少160百万円、為替換算調整勘定379百万円が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せないなか、現時点では業績予想の合理的な見積りが困難であるため、引き続き「未定」とさせていただきます。

今後、業績予想の合理的な見積りが可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,202	27,303
受取手形及び売掛金	16,834	15,614
電子記録債権	6,789	6,357
商品及び製品	7,872	8,604
仕掛品	2,002	2,148
原材料及び貯蔵品	2,782	2,751
その他	1,389	1,577
貸倒引当金	△30	△27
流動資産合計	64,842	64,330
固定資産		
有形固定資産	21,998	21,586
無形固定資産	461	1,128
投資その他の資産		
投資有価証券	15,473	16,241
繰延税金資産	615	110
その他	716	659
貸倒引当金	△27	△16
投資その他の資産合計	16,778	16,995
固定資産合計	39,238	39,710
資産合計	104,081	104,040

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,020	19,515
短期借入金	3,451	3,372
未払法人税等	343	544
賞与引当金	1,058	582
災害損失引当金	728	93
その他	4,957	5,351
流動負債合計	30,559	29,461
固定負債		
長期借入金	216	199
繰延税金負債	1,515	1,450
退職給付に係る負債	7,002	7,022
その他	950	1,415
固定負債合計	9,683	10,087
負債合計	40,243	39,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	448	448
利益剰余金	45,658	46,346
自己株式	△3,173	△3,333
株主資本合計	55,981	56,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,283	5,821
繰延ヘッジ損益	8	4
為替換算調整勘定	159	△219
退職給付に係る調整累計額	△184	△152
その他の包括利益累計額合計	5,268	5,454
非支配株主持分	2,588	2,527
純資産合計	63,838	64,492
負債純資産合計	104,081	104,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	22,678	19,365
売上原価	16,838	14,217
売上総利益	5,840	5,147
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	921	807
その他の販売費	586	465
給料及び賞与	886	890
賞与引当金繰入額	178	178
退職給付費用	43	58
その他の一般管理費	960	822
販売費及び一般管理費合計	3,576	3,223
営業利益	2,263	1,923
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	261	272
不動産賃貸料	165	168
為替差益	-	0
持分法による投資利益	-	71
その他	16	26
営業外収益合計	449	544
営業外費用		
支払利息	7	8
不動産賃貸費用	32	26
為替差損	107	-
持分法による投資損失	2	-
その他	18	16
営業外費用合計	168	52
経常利益	2,544	2,416
特別利益		
固定資産売却益	-	1
その他	1	-
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除却損	0	3
減損損失	-	10
操業休止関連費用	-	36
その他	2	-
特別損失合計	2	50
税金等調整前四半期純利益	2,543	2,366
法人税、住民税及び事業税	414	509
法人税等調整額	275	211
法人税等合計	690	720
四半期純利益	1,852	1,646
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,834	1,644

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,852	1,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△874	501
繰延ヘッジ損益	△8	△5
為替換算調整勘定	146	△397
退職給付に係る調整額	36	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	7
その他の包括利益合計	△710	137
四半期包括利益	1,141	1,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,072	1,831
非支配株主に係る四半期包括利益	68	△46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,603	8,004	22,607	71	22,678	—	22,678
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	97	120	882	1,002	△1,002	—
計	14,626	8,101	22,727	953	23,681	△1,002	22,678
セグメント利益	785	1,893	2,678	81	2,760	△496	2,263

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業及び太陽光発電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△496百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△503百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,623	6,670	19,293	71	19,365	—	19,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	102	125	803	928	△928	—
計	12,645	6,773	19,418	875	20,293	△928	19,365
セグメント利益	659	1,694	2,354	75	2,430	△506	1,923

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業及び太陽光発電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△506百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△514百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。